

新潟大学OA加速化事業中間報告



中央図書館



医歯学図書館

新潟大学 学術情報部
学術情報管理課 情報基盤係
藤原 幸生 (FUJIWARA,Sachio)
s.fujiwara☆lib.niigata-u.ac.jp
※お問い合わせの際は☆→@

新潟大学の概要

- 1949年設置（2024年：**創立75周年**）
- 前身の共立病院の設置が1870年、新潟医科大学は1922年設立（**旧六医大の1つ**）
- **日本海側に位置する大規模総合大学**（10学部5研究科）
 - 生命科学・脳科学分野の研究に強み
 - 世界初の「日本酒学」の拠点、**日本酒学センター**
 - 科研費採択件数（R6年度, 新規+継続）：702件
↑ **全国19位/1371機関**

新潟大学 OA加速化事業の概要

※区分2で採択

- ① リポジトリ登録支援システム
- ② AIを用いた論文探索システム
- ③ APC補助
- ④ 広報

附属図書館が中心となって取り組んでいる。館内でワーキングチームを編成し、事業実施にあたっている。

・その他

①に組み込む認証基盤の調達、本事業の補助および将来的な体制整備に向けた派遣職員、物品購入、国内調査…など

研究成果のオープンアクセス加速のためのシステム構築およびオープンアクセス義務化に向けた学内体制整備

researchmapと連携するオープンアクセスモニタリングシステムを開発することで、研究者のリポジトリ登録への負担を軽減し、即時オープンアクセスを実現する。また、**AIを活用して本学の研究力と成果発信力の強化**を行う。さらに、APC補助等のオープンアクセス支援策により、大学としての実態把握を行い、持続可能なオープンアクセス施策を実施する。

現況・過去の取組

- ・新潟大学学術リポジトリ
2007年：運用を開始
2019年：JAIRO Cloudに移行 ※2024.4.1時点
着実な運用を継続、コンテンツ数は33,830件
- ・オープンアクセス・オープンサイエンス
2022年：新潟大学オープンアクセス方針の策定
研究データポリシー策定中
APCの転換契約を一部実施

課題・必要性

- ・学内の即時オープンアクセスへの対応
学内における論文出版状況やオープンアクセス状況の把握が困難→①
- ・機関リポジトリ
学術雑誌論文の捕捉が十分ではない→①
研究者にとって業績・成果登録の複数のフローがあり、申請が煩雑→①-2
魅力的でないユーザーインターフェース→②
- ・APCによる研究費圧迫
論文発表に支障をきたす可能性→③

KPI

- ・本学研究成果のオープンアクセス率
2022年：1000本/1490本（67%） ※
※2022年に本学研究者が筆頭著者・共著者となって出版されたWeb of Science収録論文のうちオープンアクセスとなっているもののおおよその数（率）
→今後5年で**対象の競争的研究費について100%へ**

事業概要

- ① **オープンアクセスモニタリングシステムの開発・運用**
 - 1) 即時オープンアクセス状況のモニタリング
 - 2) JAIRO Cloud登録支援システム
- ② **AIを活用した研究分析・研究成果発信**
登録された論文データ・研究データの活用
- ③ **APC補助の実証実験**による持続可能なオープンアクセスの検討

新潟大学将来ビジョン
2030「全学の知を結
集した新たな研究フ
ラッグシップの形成」
のためのプラット
フォーム

事業体制

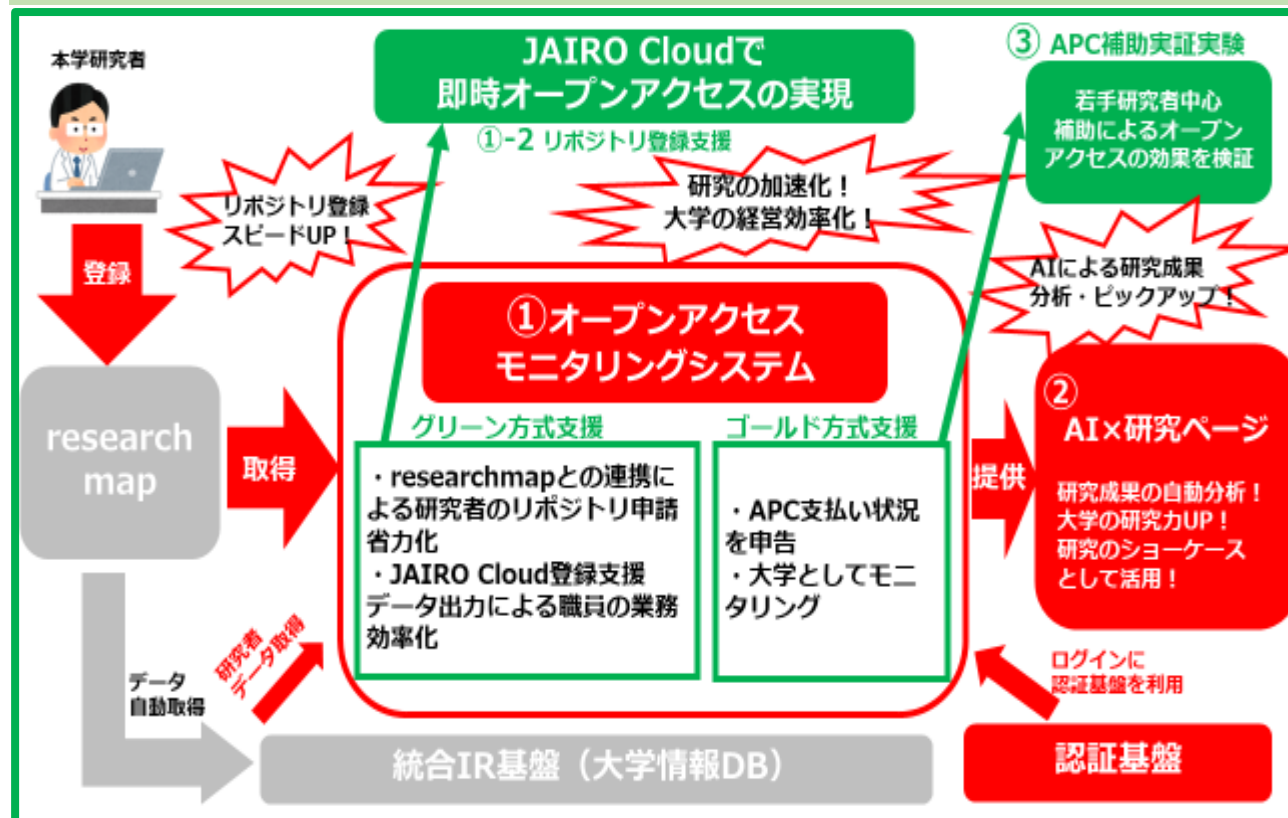
学長・理事の下、研究統括機構・学術
資料運営機構・DX推進機構・UA室
（URA）が緊密に連携して実施する。
※次頁の別図参照

効果

- ・研究者
研究成果のリポジトリ公開の省力化
APC補助による研究成果の可視化
- ・大学全体
研究成果の公開の促進による**研究の加速化**
APC支払い状況把握による**経営効率化**
研究支援体制とオープンアクセス支援体制の連携強化
- ・図書館
JAIRO Cloud登録支援による業務効率化
業務委託等による人的リソース配分見直しにより、オープンアクセスに注力できる体制を整備

波及効果

地域の中核大学として、他機関、特に新潟地域の大学へ開発したシステムを提供し、全国的なオープンアクセスの促進に寄与



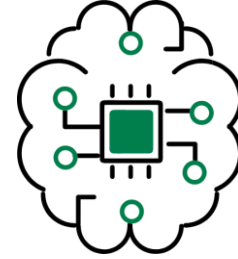
①リポジトリ登録支援システム



- JAIRO Cloud (WEKO3) への登録作業を省力化するためのシステム
- 論文とその関連情報の収集・補完・確認機能 (API連携)
 - researchmap：本学教員の業績データ自動収集
 - Unpaywall：OAステータス
 - CiNii Research OpenSearch：論文情報
 - Sherpa/Romeo, SCPJ：公開条件リンク
- (図書館→教員) リポジトリ登録依頼機能
- (教員→図書館) リポジトリ登録申請機能 (登録ファイル添付可)
- 登録情報・ファイルをまとめた一括登録用ファイル出力機能
- 教員各々が自身のOA状況を確認可能

リポジトリを中心としたOA・OSの推進を支えるシステム

②AIを用いた論文探索システム



- 本学ビッグデータアクティベーション研究センターで
AIを扱う教員との実証実験
- 新潟大学学術リポジトリ登録論文の中から、1000件程度
ピックアップし、**AIを用いてその論文の解説を生成**
- 解説は三種類（**一般向け、中高生向け、子ども向け**）
- 調達するシステムでは、**論文・解説を検索できるととも
に、本学の研究成果をAIを用いてよりわかりやすく発信
することを目指す。**

リポジトリコンテンツ×AIで起きる
化学反応とは…！？

③APC補助



- 一定の要項をクリアした論文の**APCを全額補助**
- 主体（申込先）は学術資料運営機構≡図書館
- 申し込み・問い合わせをMicrosoft Forms/Teamsで管理
- APCの支出を証する資料をFormsに添付してもらう。
- 9月26日に開始、10月28日時点で23件の申請があった。
（期間は翌年1月17日まで）
- **今年度限りの事業**で、来年度以降は実施しない予定
- 医歯学系の教員からの申し込みが多い。

ゴールドOAの支援⇔グリーンOA
を中心としたOA・OSの推進

④ 広報

・ OA支援サイトの開設（10/22）



・ URAと共同ミニセミナー開催（9/26）



・ FDの開催（10/29）



・ 広報資料の作成

